

【1面より続く】

先生の感想

★私たちの教育の中で自分を表現するということをおおざりにしてきた反省があります。子どもたちが自分を売り込んで行ける力をつけることが市民科の役割の一つと感じています。

★「市民科」は心と心の打ち合いの場であり、まず教師である自分自身が生徒の心に入っていくように語れるかどうか、が大事であると考えています。

まとめ

私たちが今回の取材を通して感じたことは、「市民科」という新しい取り組みが、未来社会を担う人材を育てるために大切だということでした。この授業を充実させるためにも、公開授業に多くの方が参観され、教育委員会、学校、保護者、地域の領域を超えた総合力で更に充実したものになって欲しいと思いました。



総合防災訓練

於・豊葉の杜中学校

災害は「忘れた頃にやってくる」といわれています。3月11日の東日本大震災は、8ヶ月過ぎてても体と頭の中に生々しく残っています。

今年も、10月16日に防災訓練が実施されました。今回は、炊き出し訓練を取材し、班長の藤木和代さん、豊葉の杜中学校の男女生徒に感想を聞いてみました。

二葉2丁目町会

当番班長 藤木和代

早朝8時には皆さん、体育館に集まりシートを敷いて、卓球台を出し、会場作りをして8時半に給食訓練を開始しました。参加者の皆さんコミュニケーションもバッチリで、とても手際が良く、10時半にはもう2500個のアルファ化米のおにぎり作りは完了しました。中学生の皆さんも良い経験になったと思います。

男子生徒の感想

ぼくは、毎年この行事に参加していたけど、おにぎりを作ってくれる人がいるなんて知りませんでした。おにぎりをつくる係としてがんばりましたが、かたがうまく出来ないの、おにぎりを並べて運ぶ係にかかりました。貴重な体験ができて、良かったです。

女子生徒の感想

私は、防災訓練に参加して全クラスのおにぎりを作る「炊き出し」をやりました。最初は、なかなか三角むすびがむずかしかつたが、コツをつかんで作れるようになって嬉しかった。みんなで協力して何かを作る事はすてきな事です。お手伝いの皆さんありがとうございました。



伊藤博文公別邸

解体記録冊子を品川区へ

日本の初代首相・伊藤博文公の木造家屋（大井3丁目）、老朽化が激しいため生誕地の秋市に一部を解体移築されました。

伊藤博文公別邸・萩市に移築（第69号・平成10年）を発行、合わせて記録冊子を調製。この度、区より歴史資料として提供要請を受け再編集、10月14日区長と面接贈呈しました。



好評だった会館一般公開

二葉中央町会は、8月17・18日午前9時から会館を公開しました。暑い平日でしたが、荏原第五地域の他町会から30名の方が来館、ケーブルテレビ品川も取材に。

第五つうしん編集委員が受付係、町会役員が説明係。見学者は入ってきて、左手の階段を昇り、2階の棧敷へ。寄附人の額を見たり、1階を眺めたりして、階段を降りて舞台に立ちその高さを実感。その後下手から花道を通って座敷に戻ります。そこには冷茶が用意してあり、皆さん座って昔のことを思い出して会話を楽しんでいました。尚、前回好評につき、12月3日（土）4日（日）の午前10時から12時に会館を再公開します。

編集委員退任のお知らせ

※3月31日で次の方が退任しました。  
田中 光子さん（豊町1丁目）  
9年間ご苦勞様でした。



最近部屋の模様替えにはまっています。インテリア好きな人が皆そうであるように、私もまた手本になる雑誌を、くまなく隅々まで見て、その中のアイデアを自分流にアレンジします。部屋替えるにあたって本を読みます。部替えするにあたって本を読みます。出来上りまわすでも実際手を動かしてみると、その通りにはなかなかいかないものです。特に色使いはむずかしく、家具との相性が悪かったり、...そんな時は、あきらめて、もう一度トライします。



お年玉クイズ

ハガキに答え・住所・氏名・年令を記入して送ってください。（応募は荏原第五地域内に在住の1家族1名とします）

◇しめきり 平成23年12月19日（月）当日の消印有効（持参可）

◇賞品先 正解者の中から10名にお届けします  
〒142-0043 品川区二葉1-3-37 荏原第五地域センター TEL3785-2000

◇送 り 先

もんだい 節足動物名をお答えください。